(予選課題1)

中原中也作

山羊の歌 汚れつちまつた悲しみに……

汚れつちまつた態しみに 今白も小雪の降りかかる 汚れつちまつた態しみに 今白も嵐さへ吹きすぎる 汚れつちまつた態しみは たとへば 弧の 革義 汚れつちまつた態しみは 小雪のかかつてちぢこまる 汚れつちまつた態しみは なにのぞむなくねがふなく 汚れつちまつた態しみは 機能のうちに死を攀む 汚れつちまつた態しみに いたいたしくも構造づき 汚れつちまつた態しみに なすところもなく首は暮れる……

【参考】https://aozoraroudoku.jp/voice/rdp/rd721.html

(予選課題 2)

室生犀星 作

老いたるえびの歌

けふはえびのように悲しい

うの 角やらひげやら とげやら 杯 生やしてゐるが

どれが悲しがつてゐるのか判らない。

ひげにたづねて見れば おれではないといふ。

^{とが}、つたとげに聞いて見たら わしでもないといふ。

それでは一体誰が悲しがつてゐるのか

誰に聞いてみても さつばり判らない。

生きてたたみを遣うてゐるえせえび一疋。

からだじうが悲しいのだ。

【参考】https://aozoraroudoku.jp/voice/rdp/rd754.html

(予選課題3)

高村光太郎 作

ぼろぼろな駝鳥

が面白くて駝鳥を飼うのだ。

どうぶつえん よんつぼはん 動物園の四坪半のぬかるみの中では、

^{あし、おおまた す} 脚が大股過ぎるぢゃないか。

るで、 頸があんまり長過ぎるぢゃないか。

雪の降る国にこれでは羽がぼろぼろ過ぎるぢゃないか。

腹がへるから堅パンも喰ふだらうが、

たい。 蛇鳥の眼は遠くばかり見てゐるぢゃないか。

身も世もない様に燃えてゐるぢゃないか。

電璃色の風が今にも吹いて来るのを待ちかまへてゐるぢゃないか。

あの小さな素朴な頭が無辺大の夢で逆まいてゐるぢゃないか。

これはもう駝鳥ぢゃないぢゃないか。

にんげん 人間よ、もう止せ、こんな事は。

【参考】https://aozoraroudoku.jp/voice/rdp/rd192.html

(予選課題 4)

宮澤賢治 作

星めぐりの歌

あかいめだまの さそり ひろげた鷲の つばさ あをいめだまの 小いぬ、ひかりのへびの とぐろ。 オリオンは驚く うたひ つゆとしもとを おとす、アンドロメダの くもは さかなのくちの かたち。 大ぐまのあしを きたに 五つのばした ところ。 小熊のひたいの うへは そらのめぐりの めあて。

【参考】https://aozoraroudoku.jp/voice/rdp/rd116.html